

～町長施政方針～



令和8年(2026年)7月

北海道むかわ町

基本政策（3つの柱）

町長施政方針及び
教育行政執行方針
↓全文はこちら↓



変えよう、むかわ町。今こそ一歩
＝命と未来を守る、現場主義の町政へ＝
～鶴川・穂別それぞれの地域性を尊重しながら、
町全体の発展につなげます～
むかわ町長 橋丸 直士



① 命と暮らしを守る（最優先）

- 北海道胆振東部地震の教訓を風化させることなく、事前復興の視点を取り入れた防災対策を進め、地域防災力の向上、情報伝達手段の多様化、避難行動の実効性を高め、「備える町」へと転換します。
- 医療・福祉・介護の連携を強化し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境を整えます。
- 介護人材の確保・定着に向けた支援を進めるとともに、地域の実情に応じた介護インフラの充実を図ります。
- 公共交通の確保、買い物や生活支援の充実、見守り体制の構築など、日常生活の基盤を支える施策を進めます。

② 産業の活性化と交流・関係人口の創出（持続と成長の基盤）

- デジタル技術の活用による生産性向上と高付加価値化を進め、持続可能な産業振興を図ります。
- ししゃもやメロンなど地域資源のブランド化や販路拡大を推進し、所得向上と地域経済の循環につなげます。
- 穂別恐竜博物館や道の駅「四季の館」を核とした、観光・教育・地域資源を一体化した取り組みを進めます。
- 住宅施策の充実や企業誘致などを一体的に推進し、「働く人が集まり、挑戦できる町」への転換を図ります。

③ 未来につなげる人材育成（未来への投資）

- 地域の魅力や思いを次世代へ「つなげる」視点を大切に、地域課題をテーマとした探究学習の充実や、地域産業と連携した学びの機会を拡充し、児童生徒が地域と関わりながら成長できる環境を整えます。
- 子どもの成長段階に応じた切れ目のない支援の充実を図り、地域全体で支える体制づくりを推進します。
- 若い世代が地域課題やまちづくりに主体的に関わることができる機会を広げ、挑戦や交流、学びの場を創出することで、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という意識の醸成につなげます。
- 地域に根ざした人材育成を進め、将来にわたり地域を支える担い手の確保と定着を図ります。

令和8年度予算の概要

令和8年度予算総額

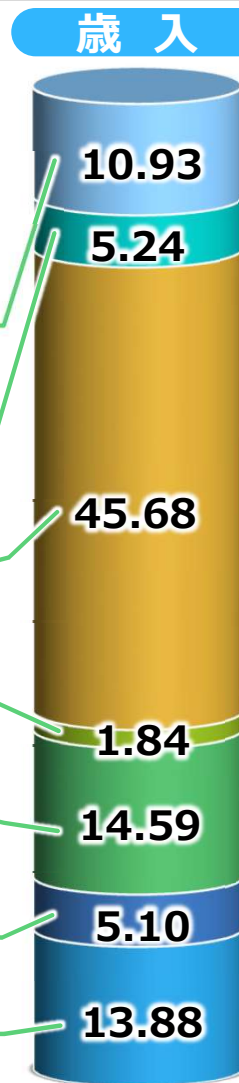
142億1,988万円

	一般会計	特別会計	企業会計	合計
令和8年度	97.26億円	29.60億円	15.33億円	142.19億円
令和7年度	107.72億円	28.90億円	14.56億円	151.18億円
比較増減	▲10.46億円	0.70億円	0.77億円	▲8.99億円
増減率	▲9.7%	2.4%	5.3%	▲5.9%

令和8年度一般会計予算

令和8年度(2026年度)
一般会計予算総額
97億2,593万円

町税	対前年度 +6,399万円
地方譲与税等	対前年度 +5,542万円
地方交付税	対前年度 ▲3,890万円
分担金,使用料等	対前年度 +440万円
国・道支出金	対前年度 ▲4億5,857万円
町債	対前年度 ▲7億2,330万円
諸収入等	対前年度 +5,114万円



(億円)



議会費	対前年度 +98万円
総務費	対前年度 ▲9億1,899万円
民生費	対前年度 +4,697万円
衛生費	対前年度 ▲2,006万円
農林水産業費	対前年度 ▲1億3,790万円
商工費	対前年度 ▲5,824万円
土木費	対前年度 ▲9,408万円
消防費	対前年度 ▲1億1,364万円
教育費	対前年度 +1億2,313万円
公債費	対前年度 +4,468万円
給与費	対前年度 +1,428万円
諸支出金等	対前年度 +6,705万円